

広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

平成30年第51週(12月17日~12月23日)【速報】

1 五類定点疾患週報情報

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	インフルエンザ ※2	338	2.94	7.20	↑	10	ヘルパンギーナ	7	0.10	0.04	
2	RSウイルス感染症	51	0.71	1.38	↘	11	流行性耳下腺炎	5	0.07	0.49	↓
3	咽頭結膜熱	35	0.49	0.80	→	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	179	2.49	2.63	↗	13	流行性角結膜炎	9	0.47	0.93	↘
5	感染性胃腸炎	824	11.44	11.30	↗	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	29	0.40	0.92	↘	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.03	
7	手足口病	16	0.22	0.50	↗	16	マイコプラズマ肺炎	1	0.05	0.38	
8	伝染性紅斑	15	0.21	0.23	↘	17	クラミジア肺炎 ※3	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	24	0.33	0.39	↘	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ※4	1	0.05	-	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当り)
 ※2 鳥インフルエンザを除く。 ※3 オウム病を除く。
 ※4 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年第42週から報告が始まりました。

発生記号(前週と比較)

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1	1~11	12,13	14~18
定点数	43	72	19	21

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↘	1 : 1.5 ~ 2 の増減
微増減	↗	↘	1 : 1.1 ~ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況(定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
感染性胃腸炎	20	12		警報発令 (H30.12.27 発令)	11.60	20.00	10.00	15.25	12.67	6.25	7.55
インフルエンザ	30	10	10	注意報発令 (H30.12.27 発令)	1.06	4.50	1.00	11.83	3.11	3.85	1.39

注)原則として、警報・注意報は県内いづれかの保健所管内で開始基準以上となった場合に発令し、すべての管内で継続基準未満となった場合に解除します。

● 感染性胃腸炎の定点当たり報告患者数が西部東健所管内で警報開始基準値(定点当たり20)になりました。感染性胃腸炎の流行が今後さらに拡大する可能性があることから、平成30年12月27日県内に「感染性胃腸炎警報」を発令しました。

● インフルエンザの定点当たり報告患者数が北部保健所管内で注意報開始基準値(定点当たり10)をこえました。インフルエンザの流行が今後さらに拡大する可能性があることから、平成30年12月27日県内に「インフルエンザ注意報」を発令しました。

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

- 急増疾患 インフルエンザ (168件 → 338件)
- 急減疾患 流行性耳下腺炎 (11件 → 5件)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1				5		
三類	0	発生なし	0							
四類	6	レジオネラ症	6		1			4		1
五類全数	6	ウイルス性肝炎(E型, A型除く)	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2						2	
		梅毒	2					1		1
		百日咳	1					1		

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
 東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>